明るく健康な生徒 正しい判断力をもち主体的に学び行動する生徒 豊かな情操をもち品位ある生徒



石神井中だより

練馬区立石神井中学校 校長 櫻 井 弘 令和2年 9月30日 第6号

『やり抜くカ』

櫻井 弘

2学期が始まり一月が過ぎました。学校生活は楽しくできていますか。新しい生活様式での学校生活にはもう慣れましたか。運動部では、9月から新人戦が始まり、学習では9月末に第2回定期考査が9教科でありました。そして、生徒会本部も代替わりしようとしています。

皆さんはこれまで、目標を決め取り組むことを多く経験してきたと思います。その取組期間により、定期考査の取組のように短期的なものから、受験や部活動の大会に向けてなど期間の長い中・長期的なものもあったと思います。取組とその結果を振り返ってみてください。「順調にでき成果も上がった」「途中で困難な状況になりやめてしまった」などあるかもしれません。これから皆さんに意識してほしいことは、「やり抜く」ということです。来年度から全面実施される新学習指導要領でも、「主体的に学習に取り組む態度」を大切にしています。どういうことかというと「自らの学習を調整しようとすること(自分で学び方の工夫すること)」「粘り強い取組を行うこと(あきらめずに努力できること)」です。今後の生活の中でぜひ「やり抜く」ことや「継続して努力する」ことを大切にしてください。以下にやり抜く力を伸ばすためのヒントを紹介します。

- GRIT(やり抜くカ)を伸ばすためには
 - ・改善を繰り返し行っていること。
 - ・卓越した技術や知識を身に付けていることに満足せず、さらに上を目指して行動している先人から学ぶ。
 - ・自分のやっていることを心から楽しむこと。そこから「情熱」が生まれる。
 - ・常に疑問をもって答えを探すこと。答えが見つかるとさらに多くの疑問へとつながり学習が深まる。
 - ・大小さまざまな挫折を経験して打ちのめされることもある。その時、打ちのめされたままでは「やり抜く力」 も失われてしまうが、立ち上がれば「やり抜く力」を発揮することができる。
 - ・不安になっても、ひたすら自分の道を歩み続ける姿勢を持ち続ける。
- やり抜く力を応援する関わり方
 - 『成長思考・やり抜く力を伸ばす表現』
 - ・「よくがんばったね。素晴らしい」
 - ・「今回はうまくいかなかったね。一緒に今回の 方法を見直して、どうやったら上手くいくか考 えてみよう」
 - ・「よくできたね、もう少し上手くできたかもしれないと思うところはあるかな」
 - 「これは難しいね。すぐにできなくても気にしなくていいよ」
 - ・「もうちょっと頑張ってみようか。一緒に頑張れ ば必ずできるから」

『妨げる表現』

- ・「才能があるね、素晴らしい」
- ・「まあ、挑戦しただけえらいよ」
- ・「よくできたね、君はすごい才能を持っている」
- ・「これは難しいね。できなくても気にしなくていいよ」
- ・「これは君には向いていないのかもしれない。でもい いじゃないか。君にはほかにできることがあるよ」

(GRIT:アンシ゛ェラ・タ゛ックワースより)